

寅さん歩 その15

江戸・東京(23区)の百名山-5

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標としています。昔の友人もはまっていたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。最近、NHKBS放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」を踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。

4年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイデアをいただきました。国民の祝日「山の日」実施記念として全踏破に挑戦したい気持ちになりました。

筆者手島氏の選んだ「百名山」は現存しない山や富士塚も含まれていますが、最高峰は新宿区44.6mの箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、東京都シルバーパスも活用し、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い23区順に紹介します。

今回は二番目に多い、文京区10山の5山を踏破します。

数字は踏破した数の累計です。最寄り駅は代表例で、都営線はシルバーパス使用可です。

[文京区-1]

25. 木曾山

後楽1丁目6 小石川後楽園内

都営大江戸線 飯田橋駅/都営三田線 春日駅

著者の手島氏は別名の「棕櫚山」(しゅろやま)としていますが、現地での表示が「木曾山」なのでこちらを採用します。

「小石川後楽園」は江戸時代初期、寛永6年(1629年)水戸徳川家の祖である頼房が、その中屋敷(のちに上屋敷)として造ったもので2代藩主光圀の代に完成した「回遊式築山泉水庭園」で、国の特別史跡・特別名勝に指定されています。



写真上左の琵琶湖に見立てた「大泉水」の右手奥が「木曾山」です。正面には白い東京ドームの屋根が見えるのですが、空の雲に同化しています。写真上右の説明板には『もとは古木が空を覆って昼なお暗く、溪流に沿った様子が「木曾路」を偲ばせる。また、シュロが多くあったことから棕櫚山（しゅろやま）ともいう』と記載。木曾山から脇を流れる木曾川（溪流）に沿って入口方面に行くと目の前に、もみじ林と大泉水が広がる設計となっています。寅さん歩 その12 東京の紅葉・黄葉および東京の紅葉・黄葉-3を参照ください。

26. 見越山

春日1丁目 13～16

最寄駅 都営大江戸線/三田線 春日駅、
東京メトロ丸の内線 後楽園駅

「礪川公園」、「戦没者慰霊堂」、「中央大学理工学部」一帯が「見越山」とのこと。何度も来ている場所ですが、山だったとは初めて知りました。でも言われてみれば、下から見る高台は確かに山の面影が残っています。見越山の名の由来は不明です。



写真上左は道路から見た上に伸びる高台。写真上右は礪川公園、フェンスは戦没者慰霊堂、その上が中央大学とよくわかります。右側は「富坂」で、この一帯には「春日局」の屋敷があり、町名として残っています。写真下左は春日局像と富坂、下右は戦没者慰霊堂から中央大学を、その下2枚は中央大学入口です。



27. 権現山

千駄木3丁目一帯

最寄駅 東京メトロ千代田線 千駄木駅

「団子坂」(写真下左)上の千駄木3丁目一帯が「権現山」で、5代将軍綱吉が根津に現在の「根津神社」を造営して、移すまで、旧社「根津権現」が鎮座していたとのことです。



写真上右は現在の団子坂上の千駄木3丁目一带。団子坂の名の由来は「坂の近くに団子屋があったとも、悪路のため転ぶと団子のようになるからとも言われている」とのこと。坂上からは東京湾の入江が望見できたため「潮見坂」とも呼ばれていた。坂上先の千駄木1丁目には森鷗外屋敷跡に「森鷗外記念館」があります。

千駄木3丁目一带で、写真下左の先で、「須藤公園」(写真下右)を見つけました。江戸時代の加賀藩の支藩の大聖寺藩の屋敷跡を実業家 須藤氏が買い取り、昭和8年(1933年)東京市に寄付、区立公園になったとのこと。高低差のある高台と低地の傾斜地公園に当時の山の面影を見つけた寅次郎でした。



28. 久世山

小日向2丁目 最寄駅 東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅

「今宮神社」(写真下左)裏手一带が「久世山」とのこと。上を見上げると、高い石垣の上に家が立ち並んでいます。今宮神社の右手には坂があり、途中に「鷲坂」の説明板がありました。



『この坂上の高台は徳川幕府の老中職を務めた旧関宿藩主 久世大和守の下屋敷があった所です。そのため地元の人々は「久世坂」と呼んで今もなじんでいます。大正以降は住宅地となり、詩人堀口大学も居住し、近くに住んでいた三好達治、佐藤春夫らによって山城国の久世の鷺坂と結びつけた「鷺坂」という坂名が自然な響きをもって世人に受け入れられてきました。文学愛好者の発案になる「昭和の坂」として異色な坂と言える』と記載。7代久世広周は老中安藤信正と共に公武合体に尽力、和宮降嫁を実現させた人です。写真下左右は坂上の現在です。



29. 音羽富士

大塚5丁目40 護国寺内

最寄駅 東京メトロ有楽町線 護国寺駅



5代将軍綱吉の生母 桂昌院の発願により元和元年（1681年）創建の護国寺仁王門を入り、境内右側に上り口があります。

護国寺の境内案内図には「音羽富士」の記載はありませんでした。





ごつごつした岩を上った山頂（写真上）
と山頂から下の道を臨む（写真右）

高さは約7m。

寅さん歩 その9 東京の富士塚めぐり
-2 参照ください。

【こぼれ話】 都立文化財庭園

都内にはさまざまな公園・庭園がありますが、特に文化財価値の高い庭園を「文化財庭園」（入園有料）と呼び、他の開放公園と区別しています。現在は都立庭園として「9庭園」があり、「寅さん歩」や今回の「江戸・東京（23区）百名山」にも登場します。

寅次郎は魅せられて「年間パスポート」（一般4,000円、65歳以上2,000円）を購入、四季ごとに訪問、楽しんでいきます。平日に行くと庭園は独り占め状態です。震災や戦災を乗り越え、このような文化財庭園が残されていることや明治以降に三菱の創業者 岩崎彌太郎が荒れた大名庭園を買い取り、整備・維持して、その後、国に寄付と貢献をしていることを知りました。

文化財庭園をより多くの人知って、来ていただくように様々なイベントが四季を応じて行われています。11月28日は「いい庭の日」とゴロを合わせ、各庭園でイベントが行われます。

10月末～12月初めまで、「都立9庭園 紅葉めぐりスタンプラリー」が開催され、秋色に染まった東京を堪能できます。9庭園のスタンプを集めると記念品がもらえます。東京の紅葉は京都にも負けませんよ。

「都立9庭園」は入園無料の時があります。9月の老人の日近くの老人週間（60歳以上の来園者）及び10月1日都民の日（来園者全員）です。対象には他の都立施設もあります。HPで確認の上、お出かけください。平成28年の老人週間は9月15日（木）～21日（水）です。

都立庭園のご案内 江戸・東京の庭園へ行こう

◆大名庭園

特別名勝・特別史跡

浜離宮恩賜庭園

江戸の潮風そよぐ浜御殿

〒104-0046 中央区浜離宮恩賜庭園1-1
 観覧料 300円/65歳以上 150円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月1日



国指定名勝

旧芝離宮恩賜庭園

江戸の風情、壮麗な石組み

〒106-0032 港区海岸1-4-1
 観覧料 150円/65歳以上 70円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月3日



特別史跡・特別名勝

小石川後樂園

水戸黄門ゆかりの名園

〒112-0004 文京区後楽1-6-6
 観覧料 300円/65歳以上 150円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月1日



◆大名庭園

特別名勝

六義園

和歌の心息づく雅な大名庭園

〒118-0021 文京区本郷込6-16-3
 観覧料 300円/65歳以上 150円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月1日



◆江戸町人の庭

国指定名勝・史跡

向島百花園

200年の歴史、江戸の花園

〒131-0032 墨田区向島3-18-3
 観覧料 150円/65歳以上 70円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月3日



◆明治・大正の庭園

都指定名勝

清澄庭園

岩崎家三代が築いた名石の庭

〒135-0024 江東区清澄3-3-9
 観覧料 150円/65歳以上 70円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月1日



◆明治・大正の庭園

重要文化財

旧岩崎邸庭園

時の風が吹く庭園

〒110-0006 台東区海浜第1-3-45
 観覧料 400円/65歳以上 200円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月1日



国指定名勝

旧古河庭園

和と洋が調和する大正の庭

〒114-0024 北区西ヶ原1-27-29
 観覧料 150円/65歳以上 70円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月1日



国指定名勝

殿ヶ谷戸庭園

武蔵野の山野草と清水の庭

〒185-0021 国分寺市南院2-16
 観覧料 150円/65歳以上 70円
 (小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
 観覧日 12月29日～翌年1月1日



次回は江戸・東京（23区）の百名山-6です。

平野 寅次郎 拝